

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7527人
世帯数
2957世帯
平成25年6月現在

うわあ、地震だ！ その時、あなたの行動は？

一昨年の東日本大震災以降、地震が頻発しています。地震を防ぐことはできませんが、備えをすることによって、被害を少なくすること（減災）は可能です。「五常」第27号では「自助」や「共助」の重要性を、28号では家庭でできる対策の具体例を取り上げました。今回は、地震が起きた時にの行動について考えます。なお、広報紙「五常」は当協議会のホームページでカラー版を見ることが出来ます。

地震発生時に、適切な行動がとれるよう、心構えを身につけておきましょう。地震発生から経過する時間ごとにすべきことが変わっていきます。地震が起きたときに何をすべきか、日頃からイメージしておきましょう。



①地震だ！まず身の安全（地震後0分～2分）とにかく自分の身を守ろう！

家にいる時に、大きな揺れを感じたり、テレビなどで緊急地震速報を受けたり、丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に身を寄せて、クッション、雑誌などで頭を保護し、揺れがおさまるまで待ちます。

風呂場やトイレにいる時は、ドアが変形して出られなくなることを防ぐため、ドアを開けて避難路を確保します。



戸外にいる場合は、建物の看板や瓦やガラスが落ちてきたり、ブロック塀が倒れることに注意しながら、安全な位置に避難し、鞆などで頭を保護しましょう。

デパートやスーパーでは、陳列棚の倒壊や照明器具の落下に注意するとともに、多くの人が集まっている場合は出口に殺到するパニックによる二次災害にも注意しましょう。



地下街では概ね60メートル毎に出口があります。地上に比べて揺れが半

分程度で、すぐに非常灯が点灯するので、頭を保護し慌てずに非常口や階段に向かいます。多くの人が出口に殺到するパニックの危険性があるので、それに巻き込まれないよう冷静に行動するよう努めましょう。

劇場や映画館では、天井からの落下物に注意し、鞆などで頭を保護し座席の間などに身を寄せて体を保護します。人々が出口に殺到して将棋倒しに巻き込まれると、揺れから身を守れても、命の危険にさらされます。冷静な避難に努めましょう。



車を運転している場合は、ハザードランプを点滅させ、周囲の安全を確認しながら道路左側に停車します。車道に駐車し、避難する時は窓を閉めキーをつけたままドアもロックせず、連絡先を見えるところに示し、車検証など貴重品を持っていきます。

②大揺れがおさまった(地震後2分〜5分) **しっかり火の始末で、火災阻止!**

台所やストーブなど火の始末をしましょう。火を使っているときに地震が起きた時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をします。小さな地震の場合でも火を消す習慣をつけましょう。もし火が出たら慌てずに、消火をしましょう。

火災が発生した時は出火から数分間が勝負です。自分一人で消そうとしないで「火事だ!」と周囲に協力を求めて、初期消火に努めましょう。

避難のときは、ブレーカーを切るのとやガスの元栓を閉める事も忘れないようにしましょう。



③火の始末の後(地震後5分〜10分) **わが家の安全の確認、確保!**

自分の身の安全が確保できたら、次

のこを行いましょう。

・家族の安全の確認、確保

身内の安否確認に災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板(携帯電話用web119)を利用しましょう。

・避難のための出口の確認



マンションなどは、地震の揺れでドアがゆがみ、部屋に閉じ込められることがあります。揺れがおさまったら、戸を開けて出口を確保しましょう。

・転倒落下した家具類やガラスの破片などに注意

床にはガラスなどが散乱していますので、足を守るために室内でも靴を履くなどの対策が必要です。

地震の後は、食器棚やクローゼツトの中が不安定になっていて、中身

が崩れてくる可能性があるため不用意に開けないようにしましょう。
・ラジオなどで災害情報、避難情報を入手

あわてて外に飛び出さない!

戸外では、瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので、むやみに外に飛び出すのは危険です。周囲の状況をよく確かめて、落ち着いて行動しましょう。

大きな地震の後には、必ず大きな余震が繰り返されるので十分な注意が必要です。また、避難する時には、電気やガスの復旧による火災を防止するため、電気ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

④外に出たあと(地震後10分〜半日)

隣近所の安否確認、助け合い!

隣近所も同じように災害にあわられて



います。安否の確認をして、家や家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。
・下敷きになっている人の救出



・火災発生時の消火活動
住民で行う初期消火は火災の延焼を防ぐ事が目的ですので、決して無理をしないことが大切です。

・けが人の救護

避難のタイミングなど

市などから避難指示などがあった時の他、自宅で火災が発生し、火が天井まで燃え移った時、近隣で火災が発生し、延焼する恐れがある時も、避難のタイミングです。自らの身を守るため、自らの判断で早めに避難する事が重要です。避難の際には、看板やガラスや瓦などの落下や、ブロック塀や門柱な

どの倒壊に注意しましょう。
正しい情報で行動する！

災害時はデマなどに惑わされやすく
なります。報道機関や区市町村、消防・
警察からの情報に注意しましょう。



⑤避難後数日間(地震発生平日〜3日)

地震発生後数日間は、水道、ガス、
電気、電話等ライフラインをはじめ、
食糧の供給が途絶えます。2〜3日は
自分でしのげるように、生活必需品(非
常用品)を備えておきましょう。

阪神・淡路大震災後のライフライン
復旧には電気は7日でしたが、水道は
90日、都市ガスは84日を要しました。
なお、非常に大規模な地震の場合、
7日程度は公的な救援ができない場合
もあると発表されています。

平成25年度コミュニティ協議会総会開催

平成25年度五常校区コミュニティ
協議会総会を平成25年4月14日に19
自治会(理事会)及び9専門組織の責
任者の出席を得て、五常小学校体育館
2階会議室で開催しました。多数の皆
様にご出席いただきありがとうございました。
また、総会では、平成24年度活動報
告、決算報告、平成25・26年度新役
員体制、平成25年度活動計画案、予算
案すべて原案どおり承認していただき
ました。(内容をホームページで

公開しています。)

枚方市は平成25年度も自主防災活
動に対する補助金を20万円としまし
た。従って、当協議会では、昨年度に
引き続き、自主防災会と共に防災活動
を一層充実させます。

また、平成20年度に枚方市に採択さ
れ進めてきた「五常の四季を楽しむイ
ベントにより地域の皆様の連体を強め
る地域づくりデザイン事業」は24年度
に終了しましたが、5年間の取組みに

より五常夏祭りなど、地域の事業とし
て定着しつつあります。これらかも地
域の絆を強める各行事の充実をめざし
て校区をあげて取り組んでいきましょ
う。

ここ数年継続している「あいさつ
運動」も、ご近所の連帯を強め、地域
の防犯力の向上に役立ってきたと実感
しています。今後もいっそう元気よく
進めてまいります。

長年の懸案であった都市再生機構跡
地の利用も一部ではじまります。安全
で住みよい五常校区をめざしてまいり
ますので、よろしく願います。

五常校区コミュニティ協議会
会長 野々村 亘

平成25年度事業計画

- 4月 煙突山桜祭り
コミュニティ協議会総会
- 5月 春の全国交通安全運動
- 5月 自治部会・専門部会合同研修会
- 6月 防災会議(防災研修会)
- 7月 広報紙発行
- 7月 合同会議(自治部会・専門部会)
- 8月 第6回五常夏祭り、防犯夏期パ
トロール
- 9月 合同会議、防災会議、秋の全国
交通安全運動、広報紙発行
- 10月 第5回五常文化祭
- 11月 合同会議、美化運動推進月間
- 12月 防災会議、防犯歳末パトロール
広報紙発行
- 1月 第24回とんど祭り
- 2月 合同会議、防災会議
- 3月 防災フェスティバル
広報紙発行

平成25・26年度役員体制

- 会長 野々村 亘
- 副会長 山口 楠夫(安全部会)
- 副会長 上野 精順(行事担当)
- 副会長 倉 洋子(青少年部会)
- 副会長 宮路 美佐(福祉部会)
- 副会長 中尾 群(環境部会)
- 事務局長 光岡 和彦(広報委員長)
- 会計 山内 佳予子
- 書記 西田 佳子
- 書記 中川 正治
- 会計監査 藤井 一郎、岩田 敬子
- 顧問 大槻哲也(元市議会議長)
- 野村生代(市議會議員)
- 土田晴彦(五常小学校校長)
- 相談役 奥長 滋嘉

第4回煙突山桜まつり

四季を楽しむ春の行事「煙突山桜まつり」を4月7日(日)に開催しました。この行事は昨年から枚方市人権政策室主催の「妙見山の煙突見学会」と同時開催となっております。

今年は例年より桜の開花が早かったうえ前日に台風のような強風と雨であったので桜が散ったのではと心配しましたが、煙突山斜面の山桜は五分咲きでした。午前中は雨もパラツキました



煙突と五分咲きの山桜

が、四百人ほどの方に参加していただきました。五常校区で最も高い妙見山からは、北摂連山や生駒の山なみや五常校区の街並みが一望できます。桜まつりで、妙見山からの眺望とともに煙突山や香里団地周辺の歴史や平和への願いを体感していただければ幸いです。

ついに動き出す五常小周辺の都市再生機構跡地の再開発が動き出しました。

五常小学校周辺の都市再生機構跡地の再開発が動き出しました。都市再生機構は今年の3月に事業者を公募し、五常小学校周辺の3地区について事業者が決定しました。

五常小学校とバス通りとの間の空地には3階建てのサービス付高齢者住宅(1階には調剤薬局)と3棟の診療所(平屋建て)が建設され、敷地内南側には駐車場も設置されます。五常小学校西門から道路への通路は4メートル

の幅で確保されています。

当初は3階建ての施設がプールに隣接した区画に建設される案でしたが、学校と協議会の要請により、施設の配置を変更してもらうことができました。夏〜秋に工事が始まる予定です。五常小学校正門への坂道の北側空地及び、以楽公園南側の空地はそれぞれ戸建て住宅が建設される予定です。



香里丘高校前老人ホーム 工事用車両問題

東中振2丁目の香里丘高校前において老人ホームの建設工事が始まりました。工事期間中一日30台(往復60台)のダンプカーが五常校区内の道路を走行する予定でしたが、地域の交通安全の確保と、五常小学校児童の通学経路でもあることから、主要地点にガードマンを設置することと、走行台数の削減を申し入れた結果、ステイツ香里ヶ丘7丁目前など2カ所にガードマンが立ち、走行台数は20台(往復40台)となりました。工事期間中には皆様も十分ご注意ください。

防犯灯のLED化推進 市の新たな補助制度

枚方市は5年間で市内の防犯灯をLED灯にするため、新たな補助制度を創設しました。LED灯は蛍光灯に比べて高価ですが、寿命が長く、消費電力が6割少なく、発電のための二酸化炭素排出量の削減にもつながり、環境にやさしいと言えます。今年度は2千6百灯分が予算化され、五常校区には

43灯分が割当てられました。

LED化の補助額が少ないため、自治会も負担が必要ですが、来年度からは対象数も増えることから、各自治会におかれては計画的にLED化を進めることをおすすめします。



LED 防犯灯

なお、防犯灯の電気代は現在40W未満の公衆街路灯契約を基本に全額枚方市から補助されていますが、LED化事業終了後は10W契約の金額に削減されます。

詳しくは枚方市又は防犯協議会までお問い合わせください。

今年の**五常夏祭り**は

8月3日(土)17時~

詳しくは、各戸に配布されるチラシをご覧ください。

